



子育て情報誌 令和8年2月号

実のなる木

北区立西ケ原東保育園 TEL 03-3918-8251
指定管理者社会福祉法人東萌会 FAX 03-3918-8259
北区西ケ原3-19-11

厳しい寒さが続く中、子ども達も白い息を吐いたり冷たい風に頬を赤くしたりと小さな体で季節を感じています。園庭では子ども達が植えたチューリップの球根に芽が吹き始めました。春が静かに足音をたてながら近づいてきたようで、心も気分もポカポカしたような気分になります。



赤ちゃんのおしゃべりを促す方法とは・・・？

赤ちゃんのおしゃべりを促し言葉を引き出すために、いくつか試してほしい方法をご紹介しますので、ご家庭でもぜひ試してみてください。

◎新生児のうちから積極的に話しかける

→赤ちゃんの言葉を増やすためには、言葉がまだ出ていない新生児期から、保護者の方が積極的に話しかけることが有効です。新生児期は、聴覚の形成が最初に行われるためです。何度も繰り返し話しかけることで、赤ちゃんは無意識のうちに耳から言葉を吸収します。また目を見て優しく話しかけることも、赤ちゃんとの信頼関係が形成され、おしゃべりを促す効果があるとされています。



◎絵本の読み聞かせ

→赤ちゃんに積極的に絵本の読み聞かせをしてあげましょう。言葉の発達をうながすためには、赤ちゃんが聞き取りやすい擬音語が多い絵本などを、抑揚をつけながらくりかえし、ゆっくりと読み聞かせてあげると良いでしょう。



◎童謡をかけ流す

→赤ちゃん向けの童謡を BGM としてかけ流す方法もおすすです。繰り返し音楽を聞くことにより、歌詞の意味は理解できなくても、曲の中に含まれる単語が自然にインプットされるからです。ただし聴力の発達を妨げないように、音量を大きくしすぎたり、長い時間聞かせたりしないように注意してください。



◎赤ちゃんに話しかける時のポイント

- ゆっくり、はっきりと話す
- 赤ちゃんの興味に、言葉で答える
- 赤ちゃんの気持ちを代弁する
- スキンシップをしながら話しかける



※2/19(木)の子育て相談会ではどんな相談でも受け付けておりますので、ぜひ、ご参加ください。

※参考文献：「保育士のひきだし」

ライクキッズ株式会社